

3学年 学年だより



令和5年11月9日
大和市立つきみ野中学校
第16号

全校での運動会

今号では、10月11日（水）、1～3学年がそろって最上級生として迎えた運動会を振り返ってみます。3連休明けの10月10日（火）があいにくの雨だったため、1日延期となり迎えた運動会当日。普段より1時間遅い登校でしたが、係の生徒は朝早くから準備をしてくれました。3年生だけの運動会と違って、つき中体操はその人数に圧倒されました。900人を超える人数で体操をそろえるだけで、まさに一つの“演技”という感じでした。バラエティリレー、選抜リレー、学年種目では前回の反省をいかし、結果を上げることができたクラスもありました。演技種目では1、2年生が、目を輝かせて見ていたのが印象的でした。三年生の皆さんも1、2年の時そうだったように、演技種目はきっと憧れの対象だと思います。最終的に勝ち負けはありましたが、どんな結果であれ、団結できたこと、応援で盛り上がったことなど、それぞれに満足感を味わえた様子が表情や作文にも表れていました。各々の胸に、最上級生としての運動会の思い出を深く刻めたことと思います。これからもここで強めたクラスの絆を大切に、日々を過ごして行って欲しいです。

10月11日 全校運動会スナップ



作文紹介 ～今回は1～5組です！～

『次につなげるために』

1組

三度の延期を経て、やっと開催できた運動会は、楽しかったが反省点も多々あった。

反省点を振り返ると、まずは応援だ。本来体育委員であるならば、積極的に声を出し、声を出させる役割であるにも関わらず、私は、応援に消極的な人たちに声をかけることをあきらめた。最初は「巻き込んで」と笑顔で言っていたが、そんな簡単なことではなかった。これが、私の体育委員としての一番の反省点だ。もう一つの反省点は学年種目だ。私は、岩村先生と違って、「最下位だったことが悔しい」ということはない。一生懸命頑張った結果ならそれでいいと思う。ただ、一生懸命頑張ったかと言われると分からない。自分自身を含め、全員で同じ目標に向かって全力を出すことは正直できていなかったのではないかと思う。私が練習の時。特に先生が不在だったときに、もっと指揮ができていれば、結果は違ったものかも知れない。---と、反省点もたくさん浮かんでくるが、思い出になることもたくさんあった。例えば私が水たまりにダイブし、運動会が始まって30分もしないうちに、泥だらけになったこと。良い思い出かはともかく、とても恥ずかしくて印象的だった。これから先、私は反省点を改善していくことは当然として、このような小さな思い出も、何か次につなげていく。そして、自分自身をレベルアップさせていきたい。合唱コンクールでは、このような反省、後悔がないよう、今度は指示を聞く側として、口を大きく開けることを最優先に、優勝目指して一生懸命頑張って練習に取り組んでいこうと思う。



『運動会』

2組

僕は「男女混合リレー」と「選抜リレー」のアンカーを務めました。男女混合リレーでは、緑組がワンツーフィニッシュすることができ、いい流れを作れてよかったです。

午前の部が終わり、緑組は2位か3位でした。優勝には、「選抜リレー」で高い順位を取ることが必須条件になりました。昼食をとった後、「選抜リレー」が行われました。僕がバトンをもらったときは、僕を含む3チームが横に並んでいました。先にリードをとろうと思っていましたが、赤組、白組が先にリードして、僕だけ遅れてしまいました。直線で巻き返しましたが、結果は3位に終わってしまいました。結果発表で優勝できないだろうと思っていましたが、クラスの皆がカバーしてくれたので優勝することができました。次の行事も仲間と協力して良い結果を残したいです。



『九月二十七日』

3組

運動会の二日前、知らされたのは「全校での開催の見送り」でした。その瞬間私は運動会に向けて高めていた気持ちがガクンと崩れ落ちるのを感じました。「またか。」正直そんな気分だった私が再び本気になれたのは、三年のみでの開催となった九月二十七日の運動会での団結があったからでした。

当日、私は開会式で話すという仕事がありました。私自身、二度の開催に戸惑いを覚え、スイッチを入れることができていない状態でした。しかし、「前に立つ者として、本気になって盛り上がるべきだ」という想いのもと、ギアを上げた呼びかけをしました。これに対する皆の反応を聞いた時、この学年の仲間と一緒にいれば、必ず成功させられると確信しました。その後も競技は順調に進み、順位に関係なくクラスや色を越えた仲間と盛り上げられたことは、とても良い思い出となりました。

た。

コロナの影響で小学校で過ごす最後の年の活動が制限された私たちにとって、最高学年で迎える運動会は初めてでした。そのため、通常どおり開催されることを何よりも祈っていましたが、残念ながら叶うことはありませんでした。しかし、この経験が私たちをさらに輝石に近づけたことでしょう。そして、こんな私たちのために、常に最善策を考え続けて下さった学年の先生方をはじめ、準備や運営等の面で協力して下さいました先生方には心から感謝しています。ありがとうございました。卒業までの数ヶ月、より一層成長できるよう努めますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

『受け継ぐ思い』

4組

運動会当日の朝、私が校庭に出て一番最初に見たものは、美術部のパネルでした。毎年1日しか見ることができないパネルだけど、今年は2回見ることができます。

小学生までは、私にとっての運動会はあまり楽しいものではありませんでした。しかし美術部のパネル制作や黒板のイラストのように、運動が好きじゃない人でも参加できるのが、つき中の運動会なのだとして中学1年生のときに衝撃を受けたのを今でも覚えています。だから、3年間美術部で毎年制作してきたパネルは、私にとって、先輩たちから受け継いできたものであり、同時に後輩へ受け継ぐものでもあります。

1年生のときは慣れないことも多かったけれど、3年生の先輩たちの絵の具の混ぜ方や塗り方を見て、ムラが出ないように気をつけたり、岩の質感を再現しようと頑張ったのをよく覚えています。1年生の頃に短パンや靴下についたペンキは今もまだ残っています。

2年生になって、みんなの中心になって行うようになり、色のグラデーションや配合で苦戦しました。実は昨年からパネル本体を岩村先生が作り直してくれて、新しいものになり、ひとまわり程サイズが小さくなったのですが、それでもあの大きさの絵をペンキで表現するのはとても大変でした。

そして今年。3年生の夏は勉強で忙しい人が増え、青学年の人はほとんどパネル製作にこなくなりました。そんな中、夏休みに学校にパネル製作に行くと、2年生と1年生のみんなが「部長先輩っ!!」とむかえてくれて、温かい気持ちになりました。去年は中心となって製作していたけれど、今年は違います。製作に顔を出しても、使った道具を洗ったり、飲み物の買い出しに行ったりとサポートに徹して見守りました。1年生のときはよく服に付けていたペンキも、今は付かなくなりました。

みんなよく知っているとおり、美術部は個人の活動が主で、集団での活動は少ないです。だから、あまり団結力がないと思われているのだろうと感じます。でも美術部のみんなには、自分でやりたいことを見つけて、課題を自分から解決して、自分たちの道を切り開く力があります。だから、協力が必要な活動であるパネル製作であっても、自分のすべきことを探して行うことができるのです。

さて、運動会。もちろん美術部のパネル製作の他にも、それぞれの人にたくさんできることがあって、こんなに人数が多くても、一人一人の良さが輝くのが、つき中の良いところです。みんなが楽しめたかは分からないけれど、私は楽しかった。これが先輩たちが受け継いできた「思い」ならば、後輩達にもつながって届いていれば嬉しいです。



『最高の運動会』

5組

自分は今回の運動会で挑戦する楽しさを知りました。初めは体育委員として前に出るのも嫌だったし、色別のアンカーで速い人と一緒に走るのも嫌でした。できることなら辞退して、応援席でただ応援だけしたいと思っていました。しかし自分がやり始めたことだから、最後までやり通さなくてはいけないなと思い、運動会当日は思い切ってやることだけを考えて、いろいろやりました。そうしたら応援の時は緑組全体で一つとなって一番盛り上がるのができたし、リレーでは一人抜かすことができて、意外と楽しむことができたから、よかったなと思いました。今回初めは嫌なことばかりでも、少し頑張ってみたら楽しむことができると分かったから、今後の行事や高校生活でも少し勇気を出して頑張っていきたいなと思います。



★全校運動会の結果発表★

	1位	2位	3位
バラエティ	2組	8組	4組
選抜リレー	5組	2組	6組
綱引き	白組	赤組	青組
学年種目	9組	5組	2組
大玉送り	赤組	青組	緑組
色別リレー	赤A	白A	緑A

優勝 緑組
準優勝 赤組
3位 白組
4位 青組

『snapsnap』での運動会の写真の注文は別紙でお配りした通り11月24日(金)までとなっております。進路用写真を撮られた方で撮り直しの希望がある方は担任にお知らせください。11月15日(水)の進路保護者会は14時30分から体育館で行います。どうぞよろしくお願いいたします。